

京丹後市総合計画・基本計画の体系

将来像と基本理念

基本方針

計画項目

ひとみずみどり
歴史と文化が織りなす交流のまち

地域力

豊かな自然や歴史・文化の恵みを活かし、世界に誇れるまちづくりをめざします

安心力

ともに支え合い、安心して暮らせる健康・福祉のまちづくりをめざします

活性力

ひとが育ち、夢がふくらみ、未来に飛躍するまちづくりをめざします

交流経済都市

環境循環都市

健やか安心都市

生涯学習都市

パートナーシップ都市

うるおい安全都市

計画推進のために

ひと・もの・ことが行き交う・交流の先進地
新・丹後王国の創造に向けて

- 定住の促進
- 農林業の振興
- 漁業・海業の振興
- 商工業の振興
- 観光の振興
- 京丹後ブランドの販売戦略
- 自然環境の保全と創造
- 新しいエネルギーの導入と活用
- ごみ・廃棄物対策
- 循環型社会の構築
- 市民主体の健康づくりの推進
- 医療保険制度の一層の充実
- 患者本位の医療体制の充実
- 支えあい、助けあいの地域福祉の推進
- 共に生きる障害者福祉の充実
- 安心して暮らせる高齢者福祉の充実
- 子育ての支援
- 学校教育の充実
- 若者の育成
- 社会教育・スポーツの充実
- 歴史文化遺産の保全と活用
- 地域コミュニティの強化
- 協働と共創のまちづくりの推進
- 人権の尊重
- 男女共同参画の推進
- 国際交流と地域間交流の推進
- 文化芸術活動の振興
- 適正な土地利用の推進
- 道路ネットワークの整備
- 河川・海岸・港湾の整備
- 住宅の供給と安心できる住環境の整備
- 地域交通の確保
- 上下水道の整備
- 防犯・交通安全の推進
- 消防・防災体制の強化
- 地域情報化の推進
- 効率的な行財政運営の推進

平成19年度の主な仕事をご紹介します

I ひと・もの・ことが行き交う 交流経済都市

1 交流の促進 京丹後の魅力を全国に発信し 交流人口の増加につなげます

■体験型旅行協議会（仮称）設立経費
【総務費】（新規） 88万円
（企画政策部 総合戦略課）

団塊の世代の田舎暮らし希望者や旅行者を対象に農林漁業や織物、歴史文化の分野などの体験プログラムを組み込んだ旅行の企画の提案や、受入窓口となる協議会の設立を進め、市内全体を観光・交流の拠点とします。

■農村コミュニティ再生・活性化事業補助金
【農林水産業費】（新規） 175万円
（農林水産部 農村調整課）

NPO法人日本都市農村交流ネットワーク協会が、京丹後市内を拠点として実施する「農村コミュニティ再生・活性化事業」に対して補助金を交付します。主な活動内容は、都市と農村の交流体験事業をはじめ、農林水産物や加工品等の地域ブランド化、即売事業などを予定しています。（平成19年度～平成21年度）



農業体験などを通して都市部との交流を促進します

■総合魅力・情報発信経費
【総務費】（新規） 140万円
（企画政策部 総合戦略課）

首都圏で開催される市町村PRイベントや、関西圏大手デパートを利用して、京丹後市の魅力や情報を発信します。平成の大合併で誕生した市町村が集まる東京でのイベントや、大手デパートでの定期的な物販、キャンペーン事業で、京丹後市の知名度アップや誘客を推進します。



昨年、東京で開催された「全国合併市町村夢フェスタ」

■京丹後共創市民制度（仮称）の創設
【総務費】（新規） 110万円
（企画政策部 総合戦略課）

都市圏などに在住されている京丹後市出身者や、京丹後市に愛着を持っていただいているかたに、知人や友人などへの京丹後市のPR活動や、市の施策への提言や情報提供など、ふるさと京丹後の力になっていただくことを目的に、「京丹後共創市民（仮称）」として委嘱します。

「京丹後共創市民（仮称）」のみなさんは、特製の名刺を持ち、京丹後市のまちづくりパートナーとしてご活躍いただきます。



2 農林業の振興 農業振興策のさらなる充実

■環境保全型農業資材普及支援事業補助金
【農林水産業費】（新規） 160万円
（農林水産部 農村振興課）

環境に配慮した営農活動の推進とともに、省力化営農資材の普及を促進するため、生分解性マルチフィルムの購入経費の一部を助成します。



国営農地で使用されているマルチフィルム

■新農産物流通体系構築プロジェクト
【農林水産業費】（継続） 400万円
（農林水産部 農村振興課）

市内で生産される農産物の流通体系を改善するため、地産地消をはじめとする地域農産物の生産・流通・消費の動向を調査し、新しい地域農産物の流通体系のあり方を検討します。（平成18年度～平成19年度）